

文化芸術・エンタテインメント・スポーツは、いまや経済社会を支える重要な存在として国際的に再評価されています。一方で、日本の一人あたり文化GDPは先進諸国の中でも最低水準にあり、文化と経済との間には、なお大きな隔たりがあるのが現状です。本シンポジウムでは、「文化芸術とエンタテインメントとの間に境界はあるのか」という問いを起点に、文化芸術・エンタメ・スポーツの持続的な発展の在り方、ならびに社会課題の解決における役割について多角的に議論します。そして、文化と経済社会が相互に作用し合う“循環型エコシステム”の構築を志向し、「文化芸術・エンタメ・スポーツを“SDGs18番目”に」という社会提言を昇華させていくことをめざします。

13:30～ 開会挨拶・ぴあ総研活動報告



吉澤 保幸
ぴあ総合研究所株式会社
代表取締役社長



笹井 裕子
ぴあ総合研究所株式会社
取締役所長

14:00～ パネルディスカッション

文化芸術・エンタメ・スポーツと経済の好循環とは

パネリスト



都倉 俊一氏
文化庁長官



日比野 克彦氏
東京藝術大学学長



鳥井 信吾氏
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副会長



岡田 武史氏
株式会社今治、夢スポーツ
代表取締役会長



鈴木 寛氏
東京大学教授
京都市特別顧問

文化と経済の対話から考える 未来のかたち

文化芸術・エンタメ・スポーツの
持続的発展を目指して

ぴあ関西40周年記念イベント

第4回ぴあ総研シンポジウム
in 京都

2025.6.23[月] 13:30→16:00 12:30開場 会場:京都市 龍谷大学大宮キャンパス本館

主催

ぴあ総研

協力

RYUKOKU UNIVERSITY

協賛

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

東京きらぼしFG

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

MIZUHO
みずほ銀行

文化と経済の対話から考える未来のかたち

～文化芸術・エンタメ・スポーツの持続的発展を目指して～

吉澤保幸

びあ総合研究所(株) 代表取締役社長

1978年日本銀行入行。2001年にびあ(株)入社。現在、びあ(株)専務取締役を務める。2021年からびあ総合研究所(株)代表取締役社長を兼務。2025年4月龍谷大学客員教授に就任。

笹井裕子

びあ総合研究所(株) 取締役所長

市場調査会社を経て、1999年びあ(株)入社。現在、びあ(株)執行役員。2002年のびあ総合研究所(株)設立時より、集客エンタメに関する、定量・定性両面からの研究・分析に携わる。2025年4月龍谷大学客員教授に就任。

会場

京都市 龍谷大学大宮キャンパス本館



龍谷大学は、寛永16(1639)年西本願寺境内に開設した教育施設「学寮」に源を発しており、大宮キャンパスは龍谷大学発祥の地です。中央

にある本館をはじめ正門、守衛所、北翼、南翼が国の重要文化財に指定されています。創建当初、明治12(1879)年の建物が、ほぼ完全な形で、しかも「群」として通り全体景観を形成していることは、明治建築物では珍しい事例です。本館は一般的に「擬洋風建築」といわれており、外観上は石の柱が建ち並んでいますが、実際は木造で石材は柱などの木部に貼り付けられています。かつては、100畳敷で学生は正座して講義を受けていました。

スケジュール

12:30 開場

13:30

開会挨拶
びあ総研活動報告

13:50 休憩

(10分間)

14:00

パネルディスカッション
文化芸術・エンタメ・スポーツと
経済の好循環とは

16:00 閉会

パネリスト

都倉俊一氏

文化庁長官

2010年日本音楽著作権協会会長就任。2016年からは同協会特別顧問、アジア・太平洋音楽創作者連盟執行委員会会長を務める。2018年に文化功労者に選出。2021年4月文化庁長官に就任。

日比野克彦氏

東京藝術大学学長

東京藝術大学在学中より作家活動を開始。社会メディアとアートを融合した表現で注目を集め、国内外で活躍。地域の場の特性を生かしたワークショップやアートプロジェクトを継続的に発信している。2022年東京藝術大学学長就任。現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業や自治体との連携なども積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。

鳥井信吾氏

サントリーホールディングス(株) 代表取締役副会長

1953年生まれ。甲南大学理学部卒業、南カリフォルニア大学大学院修了後、伊藤忠商事(株)入社。1983年サントリー(株)入社。2002年マスターブレンダー就任。同社代表取締役専務、代表取締役副社長等を経て、2014年よりサントリーホールディングス(株)代表取締役副会長。2012年(一社)関西経済同友会代表幹事、2022年大阪商工会議所会頭等、関西の経済界においても広く活動中。

岡田武史氏

(株)今治、夢スポーツ 代表取締役会長

早稲田大学卒業後、古河電気工業サッカー部に所属。1980年にサッカー日本代表に選出。現役引退後、日本代表監督としてW杯フランス大会、南アフリカ大会で指揮を執る。数々のチームの監督を歴任し、2014年FC今治のオーナーに就任。2024年4月に開校したFC今治高等学校学園長を務める。

鈴木寛氏

東京大学教授、京都市特別顧問

東京大学法学部卒業。通産省、慶應義塾大学助教授を経て参議院議員(12年間)。文部科学副大臣(二期)、文部科学大臣補佐官(四期)などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術イノベーションに関する政策づくりや各種プロデュースを中心に活動。ウェルビーイング学会副代表理事なども務める。

びあ総研が過去に開催したシンポジウム

2022年度

集客エンタメ産業による
日本再生の意義

登壇者
基調講演：
中曾宏氏
パネル
ディスカッション：
都倉俊一氏
川淵三郎氏
武藤敏郎氏
吉田淳一氏
翁谷合氏



実施報告はこちら

2023年度

文化芸術・集客エンタメは、
人々と社会をどう豊かにできるのか
～文化芸術・集客エンタメは、
SDGs18番目の目標にどうなるか?～

登壇者
基調講演Ⅰ：
都倉俊一氏
基調講演Ⅱ：
茂木健一郎氏
パネル
ディスカッション：
堀義貴氏
村井満氏
北川フラム氏
里中満智子氏
野村萬斎氏



実施報告はこちら

2024年度

集客エンタメの
社会実装に向けて
～集客エンタメを核とした地域活性～

登壇者
基調講演：
岡田武史氏
ゲスト：
横濱市長
山中竹春氏
パネル
ディスカッション：
野田秀樹氏
亀田誠治氏
杉浦久弘氏
小川理子氏



実施報告はこちら



過去に開催したシンポジウムの
ダイジェスト映像を
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。

これまでのシンポジウムをふまえて
大阪・関西万博 シングチャーターイベント
「世界遊び・学びサミット」
に参画

2025年度

遊びと学びの交差点：
エンタメが創る新しい価値

“エンタテインメント”を「遊び
× 学び」の視点から再考察。
未来の社会におけるエンタメ
の役割を、共に考える90分

開催日時

2025年8月10日(日)
16:00→17:30

会場

EXPOメッセ「WASSE」

【SDGs 18番目の目標】

びあグループでは、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすという考えに基づき、18番目の目標として「文化芸術をはじめとして、エンタテインメント、スポーツの必要性」を掲げ、心豊かな暮らしと社会のために、あらゆる人々の「文化」的活動を強化・支援することを提言します。

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を

